九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

蔵書目その九 邦人印譜 その一

中野, 三敏
九州大学教授

https://doi.org/10.15017/10494

出版情報：文獻探究. 12, pp.56-63, 1983-07-20. 文献探究の会
バージョン：
権利関係：

蔵書目その九　邦人印譜　その一

中野三敏

凡例

一、書名は原則として題簽外題により、その無きものは内題、見返し題、序題、柱題等により、その旨を（外）、（内）、（見返し）、（序）、（柱）の如くに記した。

一、「刊」とあるは刊本。「稿」とあるは刊行されず、原鈐の印稿本。「写」とあるのは原鈐ではなく、その印影を手摹して示したもの。「摹刻」はやはり原鈐ではなく、印影を摹刻して刊行したものを指す。

一、「単」とあるは単独の印人の譜。「集」とあるは数名の印人の印を集めたもの。

一、以下、主として書誌的な必要事項のみを記し、若干の解説的な文章は※を附して各項末尾に附記した。

一、書型は印譜の場合大率縦細型であるので、縦の寸法のみによって大別した。

一、内容に関しては「官印集」、「私印集」に大別し、中国印の摹刻の場合にのみ、上に「唐」の字を附して区別した。

一、参考文献

水田紀久氏編「日本印籍年表」（二玄社版「日本の篆刻」昭和四十一年刊・所収）が最も精しく、それ迄の諸文献を網羅して殆んど完璧と言える。

一、和漢印尽(内)　刊　集　摹刻

中本三冊合一冊綴。改装。京、林久次郎板。唐絵上筆、唐絵中筆、唐絵下筆、日本絵、和漢墨蹟の五部より成る。各冊扉に「刊一夢軒」とあり。画印集。

二、［和漢印尽］　刊　集　摹刻

中型折帖一帖存。薄茶表紙、雲英引地紙。万治二年春刊。玉井氏富紀一夢軒残石撰。日本繪、和漢墨蹟の巻のみ存。

※前記(一)の当該部分と同内容なれども別板。本書の方早板か。

三、和漢墨蹟印尽(内)　刊　集　摹刻

横本一冊、柿色布目表紙。元禄七年春刊。和漢墨蹟印尽・本朝古筆諸流後学能書・古筆手鑑目録（並寛永之代付）以上三部を内容とする。

※本書「万宝全書」中の一・「和漢墨蹟印尽」部は殆んど前記(一)(二)の「和漢墨蹟」を転用し、二、三を附加するに過ぎず。

四、一刀萬象(丸)　刊　単

大本四巻四冊。原装。鼠色福寿紋散らし紋臘箋表紙。池永一峯刻。首巻序跋、八則。上中巻千字文、下巻私印。正徳元年冬李東郭序。宝永四年九月高天漪序。康熙四十八年（宝永六）四月董霄天序。宝永七年二月今井東陽序。琴鶴主（下館藩主）詩并序。宝永六年冬　池永道雲自序。正徳元年八月物茂卿後序。正徳三年二月林整宇後序。

各巻題簽下部に「弐峯」（朱文円印）「雲氏名春」（白文

方印）の二印を捺す。

五、一刀萬象（外）　刊　単

大本上中二巻二冊存。原装。緑色福寿紋散らし紋臘箋表紙。池永一峰刻。

各巻題簽下部に「弐片氷心」（朱文円印）「栄春一字道雲」（白文方印）の二印を捺す。

※(四)と同板の後印。但し上巻に東郭、天漪、霽天、東陽、道雲の五序を合綴。小口に「共三」の墨書あれば、本書は初印において序跋のみを首巻とする巻立てを改めて、五序を上巻本文の初めに置き、恐らくは後序二則を下巻の末に置く三巻三冊仕立ての後印本であろう。

六、修来印譜（外）　刊　単

大本二巻三冊。原装。水色表紙。康熙綴じ。森本玄中（佚山）刻。見返し及び柱に「耕雲齋藏」。内題次行に「浪速散人森木玄中正藏父　篆刻／門人　多賀脩千晩成父　閲校／門人　小田由誼燕山父　書注」。第一、二冊は唐人印章、第三冊は私印。釈文は青墨摺り。外題は無枠紅紙に白墨にて直書。享保十八年九月梨名元章序。

七、金剪府（外）　刊　単

大本三巻三冊。原装。薄茶色表紙。康熙綴じ。森本玄中（佚山）刻。見返しに「金剪府」、内題次行に「攝江森玄中修来　篆刻／門人／馬英齋宗三　校定／滕長皎伯理　書注」。元文二年七月林士信序。釈文は墨書。外題巻数は「天」「堅」「人」。私印集。

八、全唐名譜（外）　刊　単

大本中下二巻二冊存。原装。茶色紋臘箋表紙。康熙綴じ。都賀庭鐘刻。柱に「辛夷館藏」。題簽に「後集」（朱文円印）の印を捺す。

※所見別本見返しに「先篇既鋟　脩来森玄中／后篇新刻　大江都庭鐘」の文字あり。即ち先記(六)或いは(七)の佚山印譜を新興篆所門印譜の先集とし、本書を後集とせしものか。

九、連珠集（外）　刊　単

半紙本一巻一冊。原装。薄茶表紙。龍湖巨山原輯、悟心元明摹刻。見返し中央に「連珠印譜」。左右に「龍湖巨山篆」「東皋九華摹」とあり。「丙申清和下浣日風月閑人厳尤弘拜書」の旧序、寛保三年正月悟心道人の自跋あり。自跋末の印記は「天台山下之人」（白文方印）、「元明」（朱文方印）の二印を捺した小紙片を貼布。本文枠は緑色摺り。「文調」の蔵印あり。唐私印集。

十、尚古館印譜（丙）　刊　単

大本一巻一冊。原装。薄桃色紋臘箋表紙。片山尚宜刻。見返し右肩に「運刀如法印／文各有引據」とあり。元文五年五月伊藤元琰序。寛保三年十二月海雲百拙序。釈大典跋（無年紀）。一印毎に釈文及び刀法を刻す。匡郭、釈文、刀法は緑色摺り。私印集。

※所見別本に見返し題を「亀寿堂印譜」とし、百拙序が無く、代りに元文五年四月勢南僧寿序及び悟心序（無年記）を持つものあり。印文も違える。

十一、弄鉄技淵（見返し）　刊　単

大本二巻二冊。原装。濃茶色表紙。里東白刻。延享三年十一月高養浩序。同年十二月矢木慕回序。見返し左に「泉溟里東白篆彫」とあり。私印集。

十二、清閑餘興（柱）　刊　単

半紙本二冊。改装。茶色紋臘箋表紙。康熙綴じ。趙陶斎刻。

寛延元年八月成嶋錦江序。延享五年夏高順斎序。釈文上巻のみ墨書。上巻唐人印章、下巻は私印。

十三、玄圃積玉（外）　刊　単

大本二巻二冊。原装。桃色寿紋散らし紋臘箋表紙。河村若谿刻。寛延二年秋芙蓉道人源鳳卿（成嶌芙蓉）序。同年十月河村類之自引。本文枠及び柱記緑色摺り。釈文無し。私印集。

十四、蒙處資間（外）　刊　単

大本一冊存（福寿印譜巻のみ）。原装。茶色紋臘箋表紙。新興蒙所刻。見返し中央に「福寿印譜」、左右に「崑玉」「泉南新興氏蔵」とあり。序文柱記は「蒙処資間」、本文柱は「福寿印譜」。大潮元皓序（無年記）。内題「百福寿／方外散人摹刻」。巻末に「百福寿印譜終」の六字を木活字にて捺印。

十五、古章印譜（序題）　刊　単

半紙本二冊。原装。縹色表紙。五ッ目綴じ。勝間龍水刻。扉一丁に「私印百顆」と左板に摺り出し、末に「新泉勝間龍水篆刻」。寛延三年秋井上蘭台序。同年九月龍水自跋。巻末に「通油町／川村源左衛門」の刊記あり。釈文墨摺り。私印集。

十六、微子名譜（序）　刊　単

大本一冊。原装。薄茶表紙。小野鈞刻。柱に「萬古斎珍蔵」。寛延四年七月沼晋序（牟岐隴陽書）。田中章跋（無年記、富山維章書）。釈文巻末一丁。論語微子篇中の語を採る。

十七、印変（序）　刊　単

半紙本三冊。原装。茶色紋臘箋表紙。康熙綴じ。里東白刻。宝暦三年四月蛻翁（梁田蛻巖）序、同年二月高志養浩後序。釈文巻首五丁。釈文内題に「駒陰戲削」とあり。蛻翁序柱記に「印変」。釈文以下本文柱記に「里東白印譜」。本文枠及び柱記は梔色摺り。「登黄鶴楼」「山中対酌」等唐詩六首他刻。私印集。

※「日本印籍年表」宝暦三年の項に「駒陰戲削」一冊、「印変」三冊とあれど、或いは同一本か。若しくは「駒陰戲削」の題で別本あるか。

十八、蘭皋印譜（外）　刊　単

大本二巻二冊。原装。薄茶表紙。康熙綴じ。石川源陽刻。宝暦三年十一月河維明序、同年十二月小野天池跋。柱記に「天池佚人珍蔵」とあり。奥附に「篆辯庖言 蘭皋著　印則 天池校　篆書千文 蘭皋　君子法帖 同行書　飲中八仙歌 同楷書　右嗣出」の予告あり。末に「平安　書肆廣文堂發行」。私印集。

十九、一片昆玉印譜（外）　刊　単

大本三冊。原装。表表紙緑色、裏表紙茶色。五ッ目綴じ。永井昌玄刻。見返しに「餐霞亭塾蔵」とあり。金龍道人敬雄序（無年記、高順斎書）。宝暦二年冬鳴島錦江序。同年十一月小宮山謙亭序（滕益道書）。宝暦三年二月匠芳跋（三井親和書）。同年三月坂上玄臺跋。本文枠緑色摺り。上冊は唐人印章、中下冊は私印集。釈文墨書。

廿、煉金集（角）　刊　単

半紙本二巻二冊。原装。薄茶表紙。林煥章斎刻。宝暦三年冬琴台紀恭忠序（田如升書）。同年十一月田庸徳序。同年冬林魏自跋。同年十一月田播跋。序末扉に「諸葛監觀」と大書。内題次行に「平安　林魏　成功　篆／東都　田播　百穀　揖／稿美元子乾　仝／柳璋圭士綱　仝／浪速　田庸

徳子謹　校」。上巻釈文三丁、下巻釈文四丁。本文枠青墨摺り。私印集。

廿一、博古斎印譜(外)　刊　単

半紙本二巻二冊。原装。薄茶表紙。康熙綴じ。殿村亜岱刻。内題次行に「平安亜岱殿正義子方篆刻／蕣園李景義汝質／華陽田　玠晋卿／仝校／門人／中猶明水静／松安之士孝／纂輯」。上巻に宝暦六年春龍公美序。同年三月華陽山人田玠（大江玄圃）跋。下巻に宝暦六年春李景義序。宝暦五年十一月亜岱自跋。序跋枠青墨摺り。本文枠及び釈文梔色摺り。私印集。題簽下部に「亜」（朱文方印）「岱」（白文方印）の二印を捺す。

廿二、博古斎印譜　刊

半紙本上巻一冊存。改装。凡て前記(廿一)の上巻と同一なるも、本文枠及び釈文が墨摺りとなる後印本。

廿三、彫蟲館印譜(内)　刊　単

大本二巻二冊（但し入れ本）。上巻原装。鼠色表紙。題簽半存。下巻改装。源伯民刻。見返しに「瓊浦源伯民著／雕蟲館印譜」。内題次行に「瓊浦源逸伯民父篆　男　郁久文輯」。奥附「宝暦六年丙子孟冬／雕蟲館藏版／皇都書林尚古堂文泉堂主鐫(印)」。宝暦六年五月高君秉序（馬玉壺書）。宝暦三年九月釈大潮序。宝暦六年夏釈聖産跋。釈文各丁裏にあり。本文枠及び釈文・柱記等梔色摺り。私印集。

廿四、玄黄印圃(内)（「千文印譜」）　刊　単

大本三冊。原装。縹色表紙。康熙綴じ。里東白刻。序題一「千文印譜」。序題二「千字文印譜」。巻末に「玄黄印圃終／泉溟市隠　里東白欽刻(印)」その裏に「製本発行所　大坂心斎橋南詰松村九兵衛」。宝暦七年五月梁田象水序。同年四月高志養浩序。

※三冊目表紙見返しに遊紙代りに使用して糊貼りしてある部分に「千文印章　泉溟　里東白篆刻」と内題が摺りつけてあるのが透けて見える。初め「千文印章」の題で行わんとするか。

廿五、石文元亀(外)　刊　単

小本三巻三冊。原装。薄茶表紙。高森又玄刻。前大納言序（無年記）。宝暦十年三月林義卿（東溟）跋。釈文各丁裏にあり。本文枠及び釈文青墨摺り。私印集。

廿六、古今公私印記(外)　刊　単

半紙本一冊。原装。薄茶色表紙。康熙綴じ。唐張彦遠撰。高芙蓉摹刻。内題次行に「唐河東張彦遠愛賓撰」。巻末に「日本寶暦庚辰孟春　甲斐高孟彪孺皮氏復篆」。本文枠、釈文柱記等凡て青墨摺り。「翰林学士藏印」「尾張中野延年之所藏」「松丘家永保之」「ゑびらや」等の蔵書印あり。

廿七、秋陽刀法(序)　刊　単

大本二冊。原装。薄茶表紙。竹内平治刻。宝暦十年八月竹内平治自序。釈文墨書。本文枠青墨摺り。「秋簡戯鉄」の抄摹。

廿八、秋陽刀法　刊

大本一冊合綴。改装。凡て(廿七)と同一。但し本文枠は梔色となるが、これは(廿七)の青墨の褪色せしものか。釈文も(廿七)と全く同筆。

廿九、四箴印譜　稿　単

大本一冊。表紙欠。仮綴じ。龍川諏訪盛斐刻。宝暦六年冬龍川自序。同年冬葦田惇序。宝暦十年十二月岩瀬行言跋。

※龍川序は首一二葉欠か。龍川は三井龍湖門。序跋は何れも

撰者肉筆。

卅、安菴印譜(外)　刊　単

半紙本一冊。原装。薄茶色表紙。安庵白隠子刻。宝暦十一年春入江忠囿(南溟)序。同年三月琴台紀恭忠跋。本文枠緑墨摺り。釈文無し。

※南溟序に言う所、安庵白隠は宝暦十年歿、その子三宅子正本書編輯すと。

卅一、百福寿印譜(内)　刊　単

大本一冊。改装。薄茶紋臘箋表紙。良隠温山刻。宝暦十二年正月金龍道人序。内題次行に「志学小僧良隠温山　篆刻」。見返し末行に「寶暦壬午新春　松會堂藏」と墨書あり。釈文の代りに各篆体の名称を記す。本文枠、内題、柱記、篆体名等凡て青墨摺り。「冨岡図書記」(鉄斎)の蔵書印あり。

※見返しは鉄斎筆か。

卅二、古銅印彙(外)　刊　集

半紙本一冊。原装。茶色表紙。安子深輯。内題次行に「平安　安　濬子深氏　鑒藏／甲斐　高孟彫瓊皮氏　校定」。本文初丁柱に「翠竹書屋」。序題「安氏古銅印彙叙」。明和三年春源之熙(村瀬栲亭)序。同年五月阪杜陵序。副孟義序(無年記、野鶴鳴書)。明和二年七月舟雄飛卿跋(東隄書)。同三年七月高孟彫跋。銅印譜。

卅三、唐詩印譜(見返し)　刊　単

中本一冊。原装。墨流し表紙。康熙綴じ。里東白刻。見返し左行に「泉溟　鷄鳴菴藏圃」、柱記に「鷄鳴菴印譜」。明和四年三月永井温序。本文枠及び柱記等梔色摺り。序文二丁は木活。唐詩十一首。

卅四、古鑄百印(内題)　稿　集

大本一冊。改装。二日坊輯。内題次行に「勢州洞津二日坊鑒」。明和八年三月金龍道人序。巻末に「安永二癸巳年維夏八日／五瀬国津城京口門隠士二日坊忘名／佛子帰舊坊」。本文末に「諸賢之清詞」とあって、奥田三角、東山朴、南宮岳、渋井孝徳、江村北海、南洲源芳、芥川丹邱、大雅堂、四明、岩垣龍溪、太田玩鷗、原時言、溪民部、以上十三氏の贈言あり。印文の下には鈕の説明を附し、その裏丁に買入れた印には「價」、恵贈品には「京師金龍道人恵」の如くに贈者の名号を記す。

卅五、翫古堂珍玩(外)　稿

小本一冊。原装。柿色表紙。刻者未詳。序題「印藪」。安永三年正月伊藤蘭嵎序。緑色摺り罫紙を使用。初三丁は蘭嵎自筆序。次六丁分蘭嵎自用印譜。次いで扉表に「君子斎印譜」同裏に「蘭卿藏」とあり。以下三十丁にわたって源世美、字秋平、号蘭卿なる者の私印譜。

卅六、良菴印譜(内)　刊　単

半紙本二冊。改装。緑色表紙。田中良菴刻。内題次行に「笠澤　源良菴叔道父　篆彫」。安永二年夏林愿序。安永三年五月菅春策跋。私印集。釈文墨書。

卅七、耒耨幽期(往)　刊　単

大本二冊。改装。仮綴。趙陶斎刻。序跋等欠。上冊二十三丁、下冊二十二丁存。印面は「金剛王寶劍」より「楊黻之印」迄存。釈文墨書。私印集。

卅八、[博古斎印譜]　刊　単

半紙本一冊。原装。薄茶表紙。康熙綴じ。殿村亜岱刻。序題「印譜」。奥付「安永七戌孟秋／書肆／西村平八／林権

兵工／同宗兵工」。安永七年七月龍公美序。同年二月殿亜
岱自跋（南窓主幹書）。全丁青墨摺り。
※前記(世)の後編。

世九、稽古印史(肉)　刊　単
大本二巻二冊。原装。薄茶表紙。康熙綴じ。前川虚舟刻。
内題次行に「浪華　石鼓館　前川虚舟鐫」。安永七年八月
頼春水序。中村有則跋（無年記）。尾藤孝肇跋（無年記）。
序跋三則は虚舟刻の正面摺り。柱下部に「石鼓館」とあり。
本文枠及び柱記、釈文は青墨摺り。上巻は唐官印、下巻は
本邦官印集。

四十、自刻印譜(死)　稿　単
中本一冊。原装。共紙表紙。外題打附書、コヨリ綴じ。大
久保金吾刻。裏表紙に「天明壬寅（二年）冬十月大久保金
吾／自刻印譜見贈」と墨書。本文六丁。釈文無し。私印集。

四十一、芙蓉山房私印譜(肉)　刊　集
中本一冊。改装。黄色紋臘箋表紙。康熙綴じ。源惟良輯。
柱記「芙蓉山房私印譜」。巻頭半丁「乙巳季冬写／應挙圃
圃」とある芙蓉半身像。その裏源元凱讃。天明五年八月柴
邦彦（栗山）序。同年三月源惟良序。次に六丁半にわたっ
て「菌苔居印須」と題して芙蓉愛用の道具類図録。印は芙
蓉自刻三十顆の他岩倉家具、大雅堂、葛子琴、悟心、煥章
斎、曽之唯、源美章、餘延年、菅周監、崖良弼、橘茂喬、
劉殷、杜俊民、源勝、辻孔殷、菅金崔、源惟良等の彫印を
輯め、末に「家蔵古印附」四丁半を附す。
※本書は大正二年、芙蓉一百世年祭の復製あり（後掲）。

四十二、島僊子印譜(死)　刊　単
大本三巻三冊。原装。白茶表紙。康熙綴じ。永田島僊子刻。
内題次行に「友弟　唐子光／門人　石子英／門人　高子瀾
／仝閲」。扉左行に「平安　亦醉亭蔵」。次に序跋目次一
丁。次に島僊子自画題の肖像半丁あって、延享三年七月南
泉一了師の賛。同四年夏関南午菴序。寛延三年七月大潮序。
延享三年秋無隠道費序（以上巻一）。寛延四年正月孫蔚濤
序。同年正月劉觀揚序。同年五月沈草亭序（以上巻二）。
宝暦二年十月竺菴題詩。巻末四丁、雖多翁、溟隠翁、梅翁
子、蘭陵子、義覽子、義周子、梅関子、芳素蝶、石子英、
唐子光、何研峰、薛茂国、城薛翠、宋岳、費漢源、費孟恭
等諸家贈言（以上巻三）。本文枠、釈文、柱記共に青墨摺
り。私印集。
※本書は無奥附なるも、所見別本には「寛政元酉十二月／平
安書肆　北村四郎兵衛」の奥附あり。

四十三、［霊感公御印譜］　稿　集
大本一冊。改装。茶色表紙。題簽は「御印譜」とあるのみ。
全十二丁。巻末に「右霊感公印譜有印存而譜不載者有譜載
而印不存者謹審定此本以傳云　寛政庚戌（二年）八月」と
あり。印毎に釈文と刻者名を墨書。刻者は道圓、忍海、細
知愼、独芳、宗像景長、洞音、雪山、惟親、天心子、九皐、
米著、親和、勝龍水、謙叟、白華子、白牛洞、孟寛、忠亮、
忠雄、白李明、惟中、南良菴、竹原勘十郎等。
※霊感公は肥後熊本藩主細川重賢。

四十四、漢李章譜(死)　刊　単
大本二巻二冊（但し入れ本）。上巻改装、薄茶表紙。下巻
原装、朱色紋臘箋表紙。康熙綴じ。都賀庭鐘刻。内題下に
「大江溟人　充篆／迎明主人／加隅散人／篠野道人／戲鐫」。
寛政三年七月庭鐘自序。天明八年秋瀬貞吉跋。柱記下に「

迎明居」とあり。漢官人名印集。自序末半丁のみ存。首数丁欠か。

四十五、利其器斎印譜㊀　刊　単

半紙本一冊。改装。表紙欠。紀止刻。内題次行に「平安／紀　止子基父篆／源定静子安父校」。寛政三年秋　癡漸（村井中漸）序。松本愼序（無年記）。寛政三年秋太田玩鷗序。同年十月六如慈周序。巻末二丁に源美章、源惟良、石希聰、秦武逸、藤原正臣、永忠成、源文盛、釈緝、阪肇敬、越通国、竹堂、田安興、長正成、林正典等諸家贈言あり。私印集。

四十六、千字文印譜㊀　刊　集

大本一冊。原装。黄色紋臘箋表紙。藤子孟、穆清風、春子策刻。寛政七年秋細合方明序。同年十月山穀序。同年九月檜椎一跋。同年秋蒔田暢斎（必器）跋。

※穆清風は内宮祠官荒木田氏。藤春二氏はその黨人。三氏それぞれ一日百顆の印に千字文全章を彫り、合輯して一部の書としたもの。

四十七、江霞印影㊀　刊　集

半紙本二冊。原装。黄色表紙。康熙綴じ。稲毛屋山輯。見返しに「紅霞印／影　発兌限一百部（朱文方印）、浪華書肆玄賞斎印記（朱文方印）」。内題次行に「讃岐毛直道聖民輯」。柱記下に「燕々屋蔵」。筱崎應道序（無年記）。濱田世憲序（無年記）。屋山例言。寛政九年八月屋山自跋。梅厓（十時）澳人題詩。帙に元袋封面と序者及び刻者姓名刷り物の切り貼りあり。袋封面には、中央に「江霞印影」と正楷大書。右に「屋山先生輯　発兌限一百部（朱文方印）」、左に「玄賞斎発兌　書肆泉本（白文方印）」。刻者姓名は全三十八名分を三段に記し、末に「発兌　泉本八兵衛」と刻す。巻頭五丁に「芙蓉先生篆刻」として八顆を置き、以下に三十七家の刻印を一家二乃至四顆づゝほど鈐し、末五丁に屋山自刻印十顆を配する。釈文は無く、印毎に刻者名を記す。

四十八、桃源印譜㊀　写　単

中本一冊。原装。縹色表紙。外題打付書。全十二丁。巻末に「右桃源先生篆刀／加氏南蘭所持／寛政丁巳（九年）霜月日／松野榮興写」。印文に「熊斐印」「繡江画記」等あり。

四十九、皆清印譜㊀　刊　単

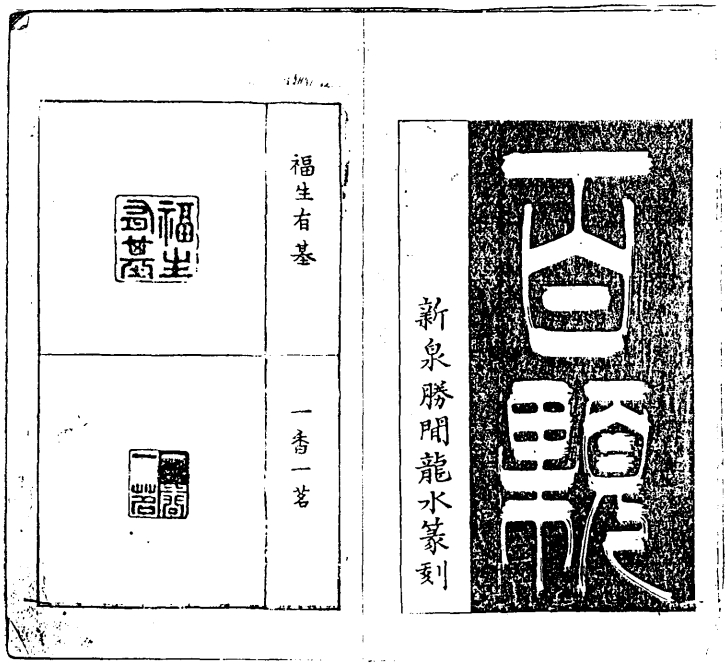
半紙本一冊。原装。縹色表紙。康熙綴じ。餘延年刻。序（無署名、無年記）。奥付「宣和集古印史復篆／王君公之部全二巻　出来／侯之部全一巻　出来／附録漢魏印鈕図　嗣出／千文印藪復篆全二巻　嗣出／呉氏印譜復篆全一巻　嗣出／皆清印譜　全一巻　出来／寛政丁巳秋　張府東壁書房」。釈文無し。本文は代赭色の罫を筆書し、印は一顆毎に別紙に鈐したものを切り貼りする。序及び奥付は板刻のものをやはり切り貼りする。題簽も板刻のものゆえ、この形で刊行されたものか。未詳。私印集。

五十、萬寿楽㊀　刊　集

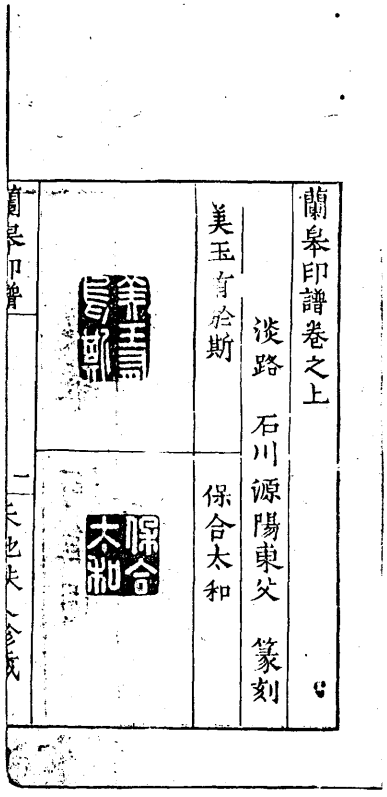
大本一冊。原装。茶色表紙。餘延年、平寅忠刻。八巣蕉雨輯。見返し中央に「雅人深致」と大書。右に「朱樹翁閲／緑竹叟劃」、左に「八巣蕉雨輯」。奥付「寛政九丁巳春日／永楽堂梓　東壁書屋（朱文方印）／信中八巣圖書（白文方印）／開雕毎部／圖書為記」。全丁枠は緑色刷り。寛政九年平長孺（清水雷首）序。

※八業蕉雨編の俳書に餘延年八顆、平寅忠九顆の刻印を配したもの。

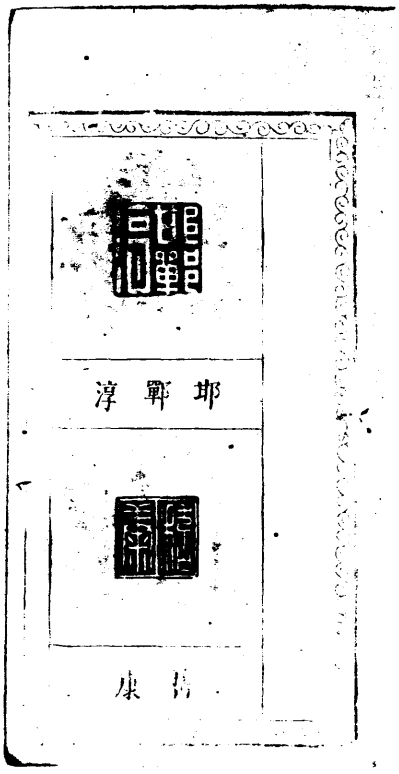
——九州大学教授——



◀十五、「古章印譜」扉ウ及び本文初丁



◀十八、「蘭皋印譜」巻上本文初丁



◀廿八、「博古斎印譜」本文第三丁